

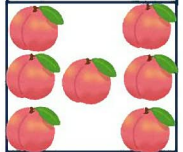
まいほーむももその建設推進ニュース 第5号

ようやく補助金の内示出る!!今春より建設進めていく!



6月から始まった寄付金活動も目標金額700万円に対し570万円を突破いたしました。寄付件数も775件となっております。
建設では、12月27日に補助金の内示がようやく下りました。
来年早々に建設に向けての準備を行っていきます。
順調にいけば、3月に工事が始まり、8月に完成!9月開設予定です!
スムーズに工事が進むように頑張っていきます!

寄付金
目標到達!



甲府健康友の会主催の施設建設チャリティーイベント「歌ごえひろば」にてバザーを開催!
収益と寄付を福祉会の「まいほーむももその」と山梨勤医協「まいほーむかいこま」へ



11月20日に勤医協駅前ビルにて施設建設支援チャリティーイベント「歌ごえひろば」が開催され47名が参加されました。
その中で南アルプス市と北杜市に看護小規模多機能施設「まいほーむももその」と「まいほーむかいこま」が来年開設予定です。その支援事業としてバザーを実施し、その売り上げと参加された方からの寄付を2つの看護小規模多機能の建設寄付として甲府健康友の会の長田会長よりいただきました。本当にありがとうございます!

甲府健康友の会長田会長(写真中央)よりご寄付を頂きました

皆で頑張りましょう!

寄付金運動プチエピソード紹介♪

“ももそのセンターで看護小規模多機能ホームを立ち上げる”そう決まった2022年8月に私は、「1日100円を積み立てていこう!」と決意しました。
看多機成功への思いを毎日繋ぐために、自分出来る小さなことをコツコツと継続することがやがて大きな成果に繋がっていくことを伝えるためにも...
そんな思いで取り組み、現在までで100円玉が約850枚(複数枚入れた日もあったのかな)になりました!多くの方々様々の様な思いがももその看多機建設成功へ導いてくれることを願っています!頑張りよう!

共立介護福祉センターももその 橘田卓



南アルプス市の特産
サクランボ 100万円
桃 10万円
を表しています。

~寄付金目標700万円以上~

12月29日現在、5,796,687円
寄付件数:775件の方からご寄付を頂きました



【寄付金の受付】

法人内の介護事業所、山梨勤労者医療協会、あすなろ薬局、健康友の会にて行っております。
引き続きよろしくお願いたします。

福祉会の7つの基本ケアとは

福祉会の介護で、最も大切にしている介護の基本「7つの基本ケア」をご紹介します。

～基本ケア②「食べたい気持ちを支える」～

食事は**健康の基礎であり、生活の彩であり楽しみです**。調理をしている姿を見て、調理する音を聞き、ご飯が炊き上がる香りや味噌汁の香りを嗅ぎ、温かい陶器のお茶碗を持ち、箸で食材の感触を楽しみ、食べて味を愛でる。**私たちは食を通して五感を刺激し、「食べる気持ちを支え」、食文化としての食事提供を心がけていきます。**

食べることは楽しく、心も温まります。親しい人と楽しく食べることで、より美味しく感じます。本人の意思を尊重しつつ、気の合う方たちと一緒に食事をすることも支援していきます。

「安全に食事を食べる工夫」としては、しっかりと足が床について、誤嚥しない前かがみの姿勢になることを大切にします。また、**前かがみになることで、食事がしっかり見え食事への意識が高まります。器まで手が届きやすいので自力で食事を取りやすくなります。**

この2つの視点を全職員が貫くことで、安全にいつまでも自分の手で暖かくて美味しい食事をとっていただけるよう支援します。

基本ケア実践のため その1 正しい姿勢

1. 下腿長※にあった椅子を選び、両足底を地面に接地する。(座位保持)
2. 体幹は軽く前かがみにして、骨盤を起こして座る。(誤嚥予防※)
3. 机と体幹の間は拳一個分あける。

※膝から足首までの長さ

※誤って食べ物が気道に入ってしまう



その2 口から食べ続けることをあきらめない (様々な専門職が食べることを支える)

私たちは正しい知識と根拠のある評価を行い、「口から食べる」ということをあきらめません。口から食べ続けるために、その方の健康状態・姿勢・食事形態・認知機能や誤嚥リスクを評価するために様々な専門職による職員集団を作っていきます。

病気が重くなると、食事がとれなくなり、カロリーの高い点滴で栄養をとることがあります。

食は楽しみです。口から食べ続けられるように五感を刺激するような環境作りや毎日の口腔ケア(歯磨き)が大切と捉え取り組んでいます。



医師・歯科・介護 リハ・看護などの専門職が飲み込む力があるのかを画像を使い、皆で共有している様子

～口から食べることを取り戻した事例紹介～

ある利用者の方は、認知症によって食べる意欲がなくなり胃へ直接食事(※胃ろう)を注入していました。

私たちは、胃ろうの方でも食事として他の方と同じ食堂で注入を行います。ある時、隣の方のご飯に手を伸ばしパクリと食べられ「ご飯があるのに、味噌汁がない」と話され10年ぶりに口から食べることができました。

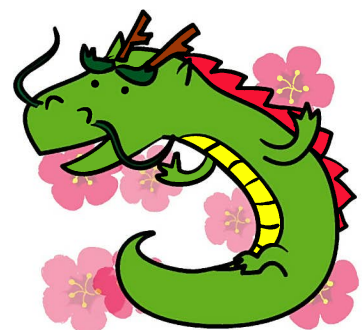
2023年もご協力ありがとうございました!

2024年はいよいよ看多機が辰つ上がり(立ち上がり)ます!



本年もありがとうございました!

兔年から辰年へ



来年もよろしくお願いいたします♪